

令和 6 年度 学校経営環境分析書

和庄中学校区 校番 14 学校名 呉市立本通小学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p> <p>〈地域環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○呉市美術館・日本遺産入船山記念館等, 地域学習ができる諸施設が近くにある。 ○校区に商業施設が多い。 ○中心部の文化施設等に近い。 <p>〈教育環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * ゲストティーチャー, 登校見守り等の学校行事への参加があり, 学校支援の体制がある。 ○PTAは自治活動を行い, 協力的である。学校に協力的な保護者が多い。 ○本通小出身の保護者や地域の方が多く, 学校に誇りをもっている。 <p>〈小中一貫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 小中一貫が充実し, 4校に連携体制が整っている。 	<p>S (強み)</p> <p>〈児童・生徒の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 優しく穏やかな児童生徒が多い。 ○おかしかったことは見逃さずに伝えることができる。 ○礼儀正しく, 気持ちのよいあいさつができる。 <p>〈教職員集団〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「チーム」としての意識が高く, 協力して教育活動に取り組む。 ○小規模校ならではの機動性があり, 学校としての行動統一が浸透しやすい。 ○特別支援の教育相談体制が確立している。 	内部環境
	<p>T (阻害的要因)</p> <p>〈地域環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通量が多く, 登下校での安全面で課題がある。 ○校区に傾斜地があり, 土砂災害や洪水等の危険がある。 ○商業施設が多く, 生徒指導上の指導が必要である。 <p>〈家庭環境〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 経済的な格差が大きく, 困難を抱える家庭がある。 * 一部であるが, 対応が長期化したり対応に困難さがあつたりする等, 外部機関との連携が必要な場合がある。 	<p>W (弱み)</p> <p>〈児童の実態〉</p> <ul style="list-style-type: none"> * 主体的に行動できるエネルギーのある児童・生徒が少ない。 ○学力差が大きく, 学年によっては, 基礎学力が定着していない。 ○単学級のため, 人間関係が固定化しがちである。 ○規範意識が低く, 思考を働かせ判断して行動することが難しい児童が見られる。 <p>〈教職員集団〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員1人あたりの分量が多く, 多忙感がある。 	

支援的要因と強みを生かした活動・取組は

- * 小中一貫教育を推進し, 9年間を通して和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。
- * 組織として主体的な学びを進め, 学力向上を図る。
- * 防災教育において, 地域の特色を生かしたカリキュラムマップに基づいた実践を行う。
- 本通小学校の教職員として全教職員がベクトルを揃えて取り組む。
- 保護者・地域と連携・協働し, 特色ある教育活動を進める。

〈生徒指導の推進〉

- * 9年間を見通した組織的な生徒指導を行う。
- * 「和庄中学校区スピリット」の浸透に向けての取組を充実させる。
- 教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を構築する。

〈学力向上〉

- * 和庄中学校区授業モデルによる授業づくりを行う。
- 読む・書く活動の充実を図る。
- ICTの効果的な活用を図る。
- 学力向上に向けた組織的・計画的な取組を図る。

〈体力・運動能力の向上〉

- * 「メディアコントロール」の取組により基本的な生活習慣の定着を図る。

* 和庄中学校共通事項

2 重点課題

○和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。

- ・基礎・基本を定着させ, 「考える授業づくり」を実施し, 思考力・判断力・表現力を育む。
- ・地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践により, 家庭を巻き込む防災教育の深化を図る。
- ・「和庄中学校スピリット」に基づく児童を育成する。
- ・基本的な生活習慣の確立や体力・運動能力向上を図る。

阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は